

福島県立医科大学々報

目 次

○ 学 事	_____	
平成27年度前期分医学博士授与者	2
○ 人 事	_____	
新任教授等・新任准教授等・新任講師等	2
新任あいさつ	2
• 副学長（業務担当）	吉村 泰典	
• 放射線医学県民健康管理センター	特命教授 広部 伸浩	
• 先端臨床研究センター	教授 織内 昇	
• 外傷学講座	教授 寺本 司	
• 多発性硬化症治療学講座	教授 藤原 一男	
• 生体機能イメージング講座	教授 石渡 喜一	
• 外傷再建学講座	教授 伊藤 雅之	
• 医療エレクトロニクス研究講座	教授 下村 健寿	
• 腫瘍生体エレクトロニクス講座	教授 志村 龍男	
○ 諸 規 程 改 正	_____	
平成27年5月から平成28年1月までの主な諸規程の制定改廃関係	6
○ 役員会・経営審議会・教育研究審議会・医学部教授会・看護学部教授会	_____	
役員会	9
経営審議会	9
教育研究審議会	9
医学部教授会	9
看護学部教授会	10
○ 雑 報	_____	
寄附講座の設置について	10
平成27年度科学研究費助成事業補助金採択状況	12
平成27年度日本医療研究開発機構（AMED）研究費採択状況	19

学 事

■ 医学博士授与者

平成27年度前期分医学博士授与者

氏名	学位論文名
太田 貴文	抗精神病薬投与中の錐体外路症状に対する芍薬甘草湯の有効性についての検討：無作為化オープン試験
山内 宏之	Senescence marker protein-30欠乏は虚血時血管新生を障害する
岡井 研	HCV感染を防ぐ新規阻害抗体の開発
岡部 直行	肺扁平上皮癌の新規組織マーカーとしてのFAM83Bの発現解析とその臨床的意義
大葉 隆	大規模原子力災害における住民への簡易的な放射性物質の表面汚染スクリーニング方法の確立
二階堂雄文	急性肺炎患者におけるバイオマーカーとしての血清 Syndecan-4 の可能性
門脇 傑	単相性4連発磁気刺激法の効果に対する、被験筋の随意収縮の影響についての検討
鈴木 政博	原発部位のCK19発現に基づいた頭頸部扁平上皮癌患者におけるOSNA法の診断的可能性
鈴木 俊幸	細胞性粘菌由来の新規低分子化合物Ppc-1による体重減少
片岡 政雄	膀胱癌におけるリゾフォスファチジン酸受容体1の発現解析と浸潤メカニズムの解明
峯村 浩之	既治療高齢・EGFR遺伝子変異陰性進行非小細胞肺癌に対するErlotinib単剤療法の検討

人 事

(平成27年5月1日～平成28年1月31日)

◎新任教授等

採用 H27.7.1	放射線医学県民健康管理センター	特命教授	広部 伸浩
任期更新 H27.8.1	小児科学講座	特命教授	佐藤 哲志
採用 H27.10.1	先端臨床研究センター	教授	織内 昇
採用 H27.10.1	外傷学講座	教授	寺本 司
採用 H27.10.1	多発性硬化症治療学講座	教授	藤原 一男
採用 H27.10.1	生体機能イメージング講座	教授	石渡 喜一

採用 H27.10.1	外傷再建学講座	教授	伊藤 雅之
組織改正 H27.10.1	先端臨床研究センター	教授	伊藤 浩
採用 H27.12.1	医療エレクトロニクス研究講座	教授	下村 健寿
採用 H28.1.1	腫瘍生体エレクトロニクス講座	教授	志村 龍男

◎新任准教授等

昇任 H27.5.1	研究推進戦略室	准教授	稲野 彰洋
採用 H27.7.1	脳神経外科学講座	准教授	藤井 正純
採用 H27.7.1	基礎看護学部門	准教授	佐藤 博子
採用 H27.7.1	(会)漢方医学講座	科部長	坪 敏仁
採用 H27.12.1	医療エレクトロニクス研究講座	准教授	前島 裕子
採用 H27.12.1	放射線腫瘍学講座	准教授	田巻 倫明
採用 H28.1.1	不整脈病態制御医学講座	准教授	鈴木 均

◎新任講師等

昇任 H27.5.1	眼科学講座	講師	森 隆史
昇任 H27.5.1	神経精神医学講座	講師	三浦 至
採用 H27.7.1	(会)整形外科・脊椎外科学講座	科長	小松 淳
採用 H27.8.1	家族看護学部門	講師	佐藤 利憲
採用 H27.10.1	外傷再建学講座	講師	畑下 智

■ 新任あいさつ



副学長就任のご挨拶

副学長（業務担当）

吉村 泰典

このたび福島県立医科大学の副学長（業務担当）を拝命いたしました。菊地臣一学長の強力なリーダーシップ、内堀雅雄福島県知事の多大なるご支援により、ふくしま子ども・女性医療センターが設立されることになり、準備の段階から参画させて頂いております。

この数年来わが国の周産期医療は、大変厳しい状況にあります。特に東日本大震災、津波、それに伴う原子力発電所の大事故は、わが国がこれまで経験したことの無い未曾有の大災害でありました。私が日本産科婦人科学会の理事長時代、東北地方に中・長期的な産婦人科医師派遣が必要であると判断しました。一年半後には学会と国や自治体とが連携したペアリング支援により、事態は改善の方向に向かっておりました。しかしながら、福島県下の周産期医

療は、産婦人科医や小児科医の孜孜とした努力にも拘らず、危機的な状況に陥ったままの状況でした。そのため福島県下の基幹病院に、全国の大学から常時4名の医師を派遣する制度を学会内で立ち上げました。これにより現在、福島県下の住民に対して安心・安全な周産期医療を提供することができています。周産期医療は、次世代に向けた未来志向型の医療であることは贅言を要しません。当センターの設立の目的は、福島県民が心健やかに産み、安心して子育てができる社会をつくることにあります。そのための医療人の育成という要事が課せられています。将来を見据えた重層的で複合的な施策を強力に展開しつつ、新たな航路を見いだしていかなければなりません。

周産期医療の受益者は、明日の社会です。日本の未来を築いていくのは女性と子ども達なのです。福島県立医科大学の皆様には、ご煩勞をおかけすることが多いとは存じますが、当センターの発展を鑑み、何卒ご海容の程お願い申し上げます。当センターの設立の主旨にご賛同頂き、絶大なご支援をお願い申し上げます。



特命教授就任ご挨拶

放射線医学県民健康管理センター
特命教授 広部 伸浩

平成27年7月1日に国際連携室副室長、特命教授を拝命いたしました広部伸浩と申します。

出身の財務省では、世界銀行、アジア開発銀行、アフリカ開発銀行等の国際開発金融機関を通じた支援を担当する部署や、為替介入の関係業務を行う部署、国際資本取引をモニターする部署等を経験しました。また、中東欧及び旧ソ連諸国の開発支援を行う欧州復興開発銀行（ロンドン）で勤務しました。福島県立医大に来る直前は、預金保険機構という、預金取扱機関（銀行等）が破綻した場合に、預金者一人あたり1,000万円までの保険金を支払ったり、破綻処理業務を行う他、破綻した銀行からの不良債権買取や、債務者等に対する責任追及業務、金融機関に対する資本増強等を行う機関におりました。こちらでも、国際関連の部署で、各国の預金保険機関が参加する国際預金保険協会という国際組織に関する業務や、他国の預金保険機関との二機関での協力（預金保険制度の運用に関する支援等）業務等を行いました。

震災から5年が経過し、福島は着実に復興していますが、未だに10万人近い方々が避難しているなど、まだまだ課題は多い状況です。また、福島に対する海外の人々の認識も必ずしも正確ではないというのが実感です。国際連携室の

使命の一つは福島状況を正しく世界に伝えることであるところ、業務を通じ、微力ながら福島復興の一助となれたら幸いです。今後ともご指導、ご鞭撻のほど何卒よろしくお願い申し上げます。



教授就任ご挨拶

先端臨床研究センター
教授 織内 昇

先端臨床研究センターは、RI内用療法を実施し新規のRI標識化合物による診断ならびに治療を開発する部署として、本学が充実した体制を整備している放射線医学・医療の一翼を担います。このたび赴任する機会を頂き、光栄であると同時に、国内随一の施設の実務を機能させていく重責に身の引き締まる思いです。

私は1985年に群馬大学を卒業と同時に開設された核医学講座の門をたたき、内科研修の後に、黎明期にあったPET等に従事し、新しい診断薬や撮影装置など進歩の現場に身を置きました。内用療法は、甲状腺疾患の¹³¹Iによる治療に加えて、癌特異的なモノクローナル抗体に核種を標識した診断・治療薬の研究が盛んでしたが、アカデミアが臨床開発する例は希少でした。

いま新規の医療開発に国が旗を振る中で、医療用に特化した国内初の中型サイクロトロンでα線放出核種を製造、薬剤を標識合成し、動物用のPET装置等を用いた非臨床試験、PET/MRI等の先端機器を活用した臨床試験を行い、実用化を目指します。安全性規準や法規制はハードルですが、本学の若手の医師、研究者の教育機会と位置づけ、外部機関と連携して、南からの順風と光が丘に差す陽光のもとで、前進する所存です。

PET診断、内用療法の開発を通じて本学の発展に微力を尽くしますので、学内外の先輩方、教職員のご指導ならびにご鞭撻を賜れば幸いに存じます。

どうぞよろしくお願いいたします。



教授就任ご挨拶

外傷学講座

教授 寺本 司

福島県立医科大学の皆様には福島県立医大外傷学講座の教授就任の御挨拶を申し上げます。生まれは九州熊本で医師を目指して、長崎大学に入学し、昭和53年長崎大学を卒業、福島県立医大の第3代の整形外科科学講座の教授でありました鈴木良平教授の主催されていた長崎大学整形外科科学講座に入局いたしました。

入局後は長崎大学整形外科の関連病院で研修を行い、これまで足と膝の外科、特に人工関節を用いない治療を行ってきました。特に変形性膝関節症に対する脛骨顆外反骨切り術、遠位大腿骨関節内骨切り術、変形性足関節症に対する遠位脛骨斜め骨切り術、遠位脛骨関節内骨切り術、腓骨の短縮に対する遠位腓骨斜め骨切り術とその骨切りを応用した外傷後関節症の関節内矯正術、骨髄炎、変形癒合、脛骨天蓋骨折に対するイリザロフ創外固定を用いた治療なども行っていく予定です。現在総合南東北病院の外傷センター副センター長も兼務し、福島県内の外傷治療の一助になればと考えています。

また、ここ数年若い先生たちに対する教育の重要性を考えるようになりました。長崎以外の私の勤務地であります大分、佐賀、山梨、茨城は全て一県大学以降に医学部ができた県で、その状況は長崎のそれと全く異なり、赴任中若い先生方が臨床研修や基礎研究で苦労されている姿を拝見し、卒業後の教育の重要性を痛感させられました。今後は臨床研究はもちろんですが、若い先生方の教育にも積極的に関わっていこうと思っています。微力ではありますが、今後ともよろしくお願い致します。



教授就任ご挨拶

多発性硬化症治療学講座

教授 藤原 一 男

昨年10月に神経内科学講座の宇川義一教授のお世話と一般財団法人脳神経疾患研究所（渡邊一夫理事長）のご支援により新たに多発性硬化症治療学講座が設置され、その教授を拝名し活動を始めました。主に郡山市の一般財団法人脳神経疾患研究所 多発性硬化症・視神経脊髄炎センター、神経内科で勤務しております。私は過去20年にわたり東北

大学神経内科で、そして9年前からは東北大学多発性硬化症治療学寄附講座で多発性硬化症（MS）、視神経脊髄炎（NMO）や関連疾患の診療、研究、教育や社会啓蒙に尽力してきました。この間にこれらの疾患の診療と研究は大きく変貌しました。

MSは中枢神経の脱髄疾患の代表であり、近年わが国でも患者数が着実に増加し、有病率が10万人あたり10人を超えてきました。診断面ではMRI所見を含めた国際的なMcDonald診断基準により早期診断が可能になり、疾患修飾薬も次々に承認されています。一方、MSの根本原因は未だ不明であり、MSを治癒させる治療はまだありません。また我が国でのMSに関する社会の認知度はまだまだ低く、これらは今後の課題です。一方、NMOはデビック病、あるいは以前は我が国では視神経脊髄型MSとも呼ばれてきました。しかし10年ほど前にこの疾患に特異なアクアポリン4抗体が発見され、その特徴的な疾患概念、臨床スペクトラムや治療が明らかになってきています。最近では、新たな自己抗体を有するNMOも見出されています。

私は、学内外、国内外の皆さんと協力し、南東北グループの広域病院ネットワークを活用して、大規模で総合的なケアと疾患研究のポテンシャルを兼ね備えたMS・NMOセンターをつくり、その活動をこの福島の地から全国、そして世界に向けて発信していきたいと思っております。

ご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。



教授就任ご挨拶

生体機能イメージング講座

教授 石渡 喜 一

平成27年10月1日付けで生体機能イメージング講座教授を拝命いたしました。私は、1981年に東北大学で黎明期のPET研究に出会い、1991年からは東京都老人総合研究所（現東京都健康長寿医療センター）において、一貫してPETの薬剤開発研究に携わってきました。前者では主にがん診断薬の、後者では主に脳診断薬の開発を手がけ、これまで10を超えるPET薬剤のファーストインヒューマンスタディーを実施してきました。

本講座の目的は、PETによる生体機能研究、特に癌や認知症などの神経変性疾患の病態生理研究を遂行する様々なプローブを導入・開発し、これらを臨床部門と連携して、研究や診療、先進医療や治験などへ展開することです。

がん診断においては、治療効果の判定に、特に連携する脳神経疾患研究所附属南東北BNCT研究センターで開始されるホウ素中性子捕捉療法や南東北がん陽子線治療セン

ターでの治療などへ、これら PET プローブを用いた診断に応用し、適切な治療方針の策定や治療効果を適切に判定することを目指します。

認知症など神経変性疾患の診断に関しては、昨今注目を集めるアミロイドやタウのイメージングプローブを導入し、鑑別診断や超早期診断法を確立するとともに、治験などを通じて創薬を強力に支援します。

平成28年度には若手が1名加わるものの、2名の小講座ではありますが、臨床部門の先生方と連携して、PET による研究や診療を推し進めていきたいと考えております。皆様方のご支援・ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



教授就任ご挨拶

外傷再建学講座

教授 伊藤 雅之

当講座は2015年10月に発足し、私が教授に拝命されました。平成6年福井医科大学を卒業し、外傷外科を目指すため、手外科を勉強すべく出身地の新潟大学整形外科に入局、縁あって関節外科に進みました。骨折治療でも有名なボスでしたので、ベルリンフンボルト大学外傷学講座に短期留学をする機会も頂きました。中越地震震源地の経験から、救急医療との連携を勉強するため、日本医科大学救急科に国内留学し、新潟大学救急医学講座を経て新潟市民病院 整形外科 救命救急センター副センター長となり、現在に至ります。

当講座の設立は、外傷初期から整形外科が治療に参加することで、避けることが出来た外傷死 Preventable trauma death に対応して、外傷機能障害 Preventable trauma disability を予防することが第一目標です。大きな外傷での治療は、救命出来ることが前提ですが、治療完了後、就労出来ないという症例を減らしたいと思っています。

しかし、外傷死を避けるために整形外科領域の加療が出来ない超重症患者、あるいは初期治療が満足でなかった症例の場合、重傷例なのでやむを得ないと、患者や家族にあきらめていただく前に、顕微鏡下手術、創外固定、関節鏡、骨切り術、人工関節などの再建術を駆使して加療し、社会復帰の可能性を追うことが第二目標です。

さらに高齢化社会においての外傷は、骨脆弱性、筋肉減少などにより治療も困難です。新たなアプローチでの加療を考え実践すること、そのためにデータの収集から始めることが第三目標です。ご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願いいたします。



教授就任ご挨拶

医療エレクトロニクス研究講座

教授 下村 健寿

昨年12月より発足いたしました医療エレクトロニクス研究講座の教授を拝任いたしました下村健寿と申します。

この度は母校の福島県立医科大学に教授として着任させていただき、大学の先生方はじめ皆様から感謝しております。私の専門は電気生理学でして、インスリン分泌を司る β 細胞ならびに脳の電気活性を測定することを通じて研究しております。私の生涯にわたる研究テーマである電気生理学への道を開いていただいたのは福島医大にほかなりません。私は学生時代から本学の第一生理学講座にお邪魔し、当時、助教授でいらっしゃった松本茂二先生に電気生理学の手法であるパッチクランプをご教示いただきました。これがきっかけとなりまして現在にいたるまで電気生理学の研究をしております。卒後、群馬大学で内科医をしていた時期もあるのですが、諸事情から英国オックスフォード大学に就職し研究員として8年間頑張っていました。英国での研究生活はつらいことも多かったのですが、その業績を母校が評価してくださり、今回の名誉をいただけたこと重ねまして心から感謝しております。

私の福島医大着任にあたり、自治医大から脳研究では定評のある前島裕子先生が准教授として着任してくださいました。これから前島准教授と力を合わせて福島医大の益々の発展に微力ながらお役に立てればと頑張っております。何卒、末永く宜しく願い申し上げます。



教授就任ご挨拶

腫瘍生体エレクトロニクス講座

教授 志村 龍男

このたび平成28年1月1日付をもちまして寄附講座である腫瘍生体エレクトロニクス講座教授を拝命いたしました。本講座は、現在、埼玉医科大学国際医療センター消化器腫瘍科主任教授に転任された柴田昌彦先生を教授に平成22年1月1日に開設された腫瘍生体治療学講座のあとを受け、平成26年1月1日に名称も新たに第一歩を踏み出しました。私は、准教授として平成22年4月1日より福島県立医科大学に赴任して参りました。臨床では、群馬大学時代からの

恩師である器官制御外科学講座主任教授竹之下誠一先生のもと、肝胆膵・移植外科学を担当しております。

私は現在、1) 腫瘍免疫、2) 医療エレクトロニクスを2本の柱に研究を進めております。腫瘍免疫に関しては、ベータガラクトシド結合レクチンである galectin-3 を中心に解析しております。galectin-3 は、腫瘍進展、浸潤、抗アポトーシス効果など様々な癌細胞の悪性資質獲得に関与し、ムーンライト蛋白と呼ばれています。これを一つの切り口として、器官制御外科で担当している消化管、肝胆膵、乳腺、甲状腺分野を臓器横断的に解析しております。医療エレクトロニクス分野では、非観血的血圧持続モニターの開発に携わり、現在、手術患者さんを対象に臨床研究を進めております。福島は、東日本大震災という大きな試練を経験し、それを乗り越え、さらなる飛躍のために次のステージへと進もうとしています。浅学非才ではありますが、少しでも福島県民のお役にたてるよう愚直に精進してまいり所存です。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

諸規程改正

■ 平成27年5月から平成28年1月までの主な諸規程の制定、改正及び改廃関係

- 「福島県立医科大学倫理委員会規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成27年5月1日施行)
「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」が改正されたことに伴い、「試料及び情報等の保管」に係る規定が改正されました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学における研究活動に係る不正行為への対応に関する要綱」の一部改正について
(平成19年11月2日制定・平成27年5月1日施行)
「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン」が改正されたことに伴い、「研究データの保存及び開示」及び「告発者、被告発者の取扱い」に係る規定が改正されました。
- 「医学部教員（助教、助手）を任期の定めのない教員に移行する際の手続き等について」の一部改正について
(平成24年11月21日制定・平成27年5月20日施行)
医学部の任期が「原則5年以内」に変更されたことに伴い、原則5年を超える場合の条件及び更新をする際の手続きに係る規定の追加、諸規定の改正が行われました。
- 「ふくしま国際医療科学センター将来構想推進会議内規」の制定について
(平成27年5月26日制定・平成27年5月26日施行)

- ふくしま国際医療科学センター将来構想推進会議に関する必要な事項が定められました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学ふくしま国際医療科学センター整備運営本部要綱」の一部改正について
(平成24年11月20日制定・平成27年5月26日施行)
「ふくしま国際医療科学センター運営委員会」が廃止され、新たに「ふくしま国際医療科学センター将来構想推進会議」が設置されたことによる改正が行われました。
- 「ふくしま国際医療科学センター運営委員会内規」の廃止について
(平成27年3月17日制定・平成27年5月26日施行)
- 「福島県立医科大学利益相反のマネジメントに関する要綱」の一部改正について
(平成21年3月25日制定・平成27年5月27日施行)
倫理委員会規程の改正に伴い、「臨床研究、厚生労働科学研究、企業等と関わりがある研究の特例」に係る規定が改正されました。
- 「福島県立医科大学総合科学系教員体制等検討委員会規程」の一部改正について
(平成23年8月1日制定・平成27年6月1日施行)
委員会により幅広い意見を反映させるため、委員長が指名できる者として「その他必要と認める者」が加えられました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学教員の任期に関する規程」の一部改正について
(平成21年1月16日制定・平成27年6月16日施行)
任期を定めて雇用する教員の任期が「原則5年以内」に変更されたことに伴い、「任期を定めて雇用する教員の組織等」に係る規定の別表が任期「5年以内」から任期「原則5年以内」に改正されました。
- 「福島県立医科大学医学部医学科・大学院医学研究科MD-PhDプログラムの旅費及び参加費の助成取扱要綱」の制定について
(平成27年6月17日制定・平成27年6月17日施行)
学会等に筆頭演者として参加する際の旅費及び参加費の経費負担を教育研修支援課で助成する場合に関して、必要な事項が定められました。
- 「公立大学法人福島県立医科大学職員退職手当規程」の一部改正について
(平成18年4月1日制定・平成27年7月1日施行)
「自己の都合による退職等の場合の退職手当の基本額」の傷病に係る退職の規定が改正されました。
- 「福島県立医科大学附属病院透析機器安全管理委員会設置要綱」の制定について
(平成27年7月3日制定・平成27年7月3日施行)
透析機器安全管理委員会に係る事項が定められました。
- 「福島県立医科大学会津医療センター附属病院医療安全部業務規程」の一部改正について
(平成25年5月12日制定・平成27年7月24日施行)

医療安全部の組織に「薬剤部長」及び「看護副部長（業務担当）」が追加されました。

○「福島県立医科大学医学部教授適任者選考規程」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成27年8月5日施行）

委員会の議事についての開催条件等が追加されたことに伴い、「委員会の議事」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院 院内急変対応システム（RRS）運営委員会内規」の一部改正について

（平成27年2月1日制定・平成27年8月7日施行）

委員会の所掌事項に「急変カートの管理・運営に関すること」が追加されました。

○「県民健康調査データ管理システム利用端末等の取扱要綱」の制定について

（平成27年9月1日制定・平成27年9月1日施行）

県民健康調査データ管理システムの利用に当たり、必要な事項が定められました。

○「医学部教員（准教授、講師）の採用及び昇任の手続きについて」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成27年9月16日施行）

資格審査委員会の資格審査基準に「OSCE 講習会の受講」が追加されました。

○「医学部教員（助教、助手）を任期の定めのない教員に移行する際の手続き等について」の一部改正について

（平成24年11月21日制定・平成27年9月16日施行）

原則5年の任期中に育児休業を取得した場合の任期更新できる期間を明確化することに伴い、「原則5年の任期を超えて更新をする際の手続き」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学大学院学則」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成27年9月30日施行）

「災害・被ばく医療科学共同専攻」の設置等に伴い、「医学研究科の課程及び専攻」、「学生定員」及び「授業及び研究指導」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成27年10月1日施行）

「分子イメージング部門」が「分子画像学部門」に名称が変更され、「分子治療学部門」が新設されたことに伴い改正されました。

○「福島県立医科大学献体遺体を用いた臨床医学教育・研究実施規程」の制定について

（平成27年10月1日制定・平成27年10月1日施行）

献体遺体を用いた臨床医学教育・研究の適切な実施に関して、必要な事項が定められました。

○「県内における福島県「県民健康調査」甲状腺検査（一次検査）実施要領の一部改正」について

（平成26年1月28日制定・平成27年10月1日施行）

一次検査会場での暫定的な検査結果説明について、県

内検査実施機関での運用を開始することに伴い、「（別紙2）甲状腺超音波検査集計表（県内検査実施機関用）」及び「（別紙3）県民健康調査甲状腺超音波レポート（一次検査）」の改正、「（別紙6）医療機関名・住所等変更届」の追加がなされました。

○「県内における福島県「県民健康調査」甲状腺検査（二次検査）実施要領」の一部改正について

（平成25年6月24日制定・平成27年10月1日施行）

液状化検体細胞診を県内の二次検査実施機関においても運用を開始することに伴い、「（別紙1）県民健康調査に係る甲状腺検査（二次検査）の実施について（お知らせ）」及び「（別紙4）医療機関名・住所等変更届」の追加、「（別紙2）甲状腺検査（二次検査）集計表」の改正がなされました。

○「県外における福島県「県民健康調査」甲状腺検査実施要領」の一部改正について

（平成24年5月22日制定・平成27年10月1日施行）

一次検査会場での暫定的な検査結果説明を県外検査実施機関においても運用を開始することに伴い、「（別紙2）甲状腺超音波検査集計表（県外検査実施機関用）」、「（別紙3）県民健康調査甲状腺超音波レポート（一次検査）」及び「（別紙7）甲状腺検査（二次検査）集計表」の改正、「（別紙8）医療機関名・住所等変更届」の追加がなされました。

○「県内における「県民健康調査」甲状腺検査交付金交付要綱」の一部改正について

（平成25年6月24日制定・平成27年10月1日施行）

交付金の支払いについて要綱を明確に規定することに伴い、「交付金の対象及び交付額」及び「交付金交付申請書の手続等」に係る規定が改正されました。

○「県外における福島県「県民健康調査」甲状腺検査交付金交付要綱」の一部改正について

（平成24年5月22日制定・平成27年10月1日施行）

交付金の支払いについて要綱を明確に規定することに伴い、「交付金の対象及び交付額」及び「交付金交付申請書の手続等」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院児童虐待対応委員会設置要綱」の一部改正について

（平成25年2月12日制定・平成27年10月27日施行）

虐待に関する相談に対応するよう「初期対応チーム」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学組織及び運営規程」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成27年11月1日施行）

災害医療部の開設に伴い、「職の名称及び種類等」に係る規定及び別表1が改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院規程」の一部改正について

（平成18年4月1日制定・平成27年11月1日施行）

附属病院組織に「災害医療部」を新設したことに伴い、

「災害医療部及び災害医療部長等」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院の副病院長に関する規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年11月1日施行)

附属病院組織に「災害医療部」が新設され、副病院長が担当することに伴い、「職務」及び「定数及び選任方法」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院医薬品等臨床試験実施細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年11月1日施行)

GCP及び利益相反委員会の手続との整合性を図るため等により、「病院治験審査委員会での会議」及び「治験責任医師等の要件」に係る規定等が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学固定資産管理細則」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年11月13日施行)

少額備品の管理を適正に行うため、「取得及び固定資産台帳等への登録」及び「移動」に係る規定に「備品一覧表」を追加する改正がありました。

○「福島県立医科大学情報ネットワークシステム利用要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年11月18日施行)

新しい職名、称号名及び団体名等に対応するため、「利用資格」に係る規定が改正されました。

○「福島県県民健康調査「健康診査」個別健診実施要綱」の一部改正について

(平成26年12月16日制定・平成27年11月24日施行)

検体検査の委託の際の実体に即した内容の記載及び様式の変更等に伴い、「個別健診の対象者」、「検体検査の委託」、「白血球分画検査に関する取扱い」及び「検体検査料等」に係る規定が改正されました。

○「福島県立医科大学看護学部履修規程」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成27年12月15日施行)

看護学部履修カリキュラムの改正に伴い、別表1及び別表2が改正されました。

○「論文推進に向けたスーパーバイザー会議設置要綱」の制定について

(平成27年12月17日制定・平成27年12月17日施行)

「論文推進に向けたスーパーバイザー会議」に関して必要な事項が定められました。

○「福島県「県民健康調査」データ利用・解析、結果発表等に関する審査要綱」の一部改正について

(平成27年1月1日制定・平成27年12月17日施行)

スーパーバイザー会議の発足に伴い、「論文等による結果発表」に係る規定及び別紙「学会発表の際の共同発表者並びに論文の共著者について」が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学特定個人情報取扱規程」の制定について

(平成27年12月28日制定・平成27年12月28日施行)

法人における特定個人情報の適正な取扱い確保に関して必要な事項が定められました。

○「国際交流事業（海外短期留学）に関する協定を締結している大学の教員・学生と本学学生との懇談会経費の助成取扱要綱」の制定について

(平成28年1月1日制定・平成28年1月1日施行)

国際交流事業（海外短期留学）に関する協定を締結している大学の教員及び学生に対して、本県の復興の状況等の情報を発信する目的をもって開催される懇談会等の経費の助成について必要な事項が定められました。

○「公立大学法人福島県立医科大学が取り扱う個人情報の保護等に関する規程」の一部改正について

(平成24年12月1日制定・平成28年1月1日施行)

番号法の施行等に伴い、「本人等の証明に必要な書類」及び関係様式が改正されました。

○「福島県立医科大学総合科学教育研究センター規程」の一部改正について

(平成20年3月31日制定・平成28年1月7日施行)

組織改正に伴い、「庶務」に係る規定が改正されました。

○「公立大学法人福島県立医科大学会津医療センター附属病院医薬品等臨床試験実施細則」の一部改正について

(平成25年9月1日制定・平成28年1月8日施行)

対象となる指針の改定及び利益相反委員会の手続きとの整合性を図ること等に伴い、「治験審査委員会の選択」及び「治験責任医師等の要件」に係る規定等が改正されました。

○「福島県立医科大学附属病院先進医療等審議委員会設置要綱」の一部改正について

(平成18年4月1日制定・平成28年1月13日施行)

高難度新規医療技術に関する事項を審議に追加することに伴い、「設置」、「所掌事項」及び「審議事項」に係る規定が改正されました。

役員会・経営審議会・ 教育研究審議会・医学部 教授会・看護学部教授会

■ 役員会

【平成27年6月24日 第3回役員会】

○寄附講座の設置

次のとおり、新たな寄附講座を設置することが承認された。

(名称)

外傷再建学講座

(設置期間)

平成27年10月～平成32年9月（5年間）

(研究テーマ)

外傷治療及び再建治療に関する研究

【平成27年9月30日 第6回役員会】

○寄附講座の設置

次のとおり、2つの新たな寄附講座を設置することが承認された。

①(名称)

生体機能イメージング講座

(設置期間)

平成27年10月～平成30年9月（3年間）

(研究テーマ)

PET用生体機能探索プローブの開発とその臨床応用

②(名称)

多発性硬化症治療学講座

(設置期間)

平成27年10月～平成30年9月（3年間）

(研究テーマ)

多発性硬化症（MS）、視神経脊髄炎（NMO）の臨床、画像、病態的解析及び治療法の開発並びに関連緒科との連携による総合的な医療・ケアシステムの構築

【平成27年11月25日 第8回役員会】

○寄附講座の設置

次のとおり、3つの新たな寄附講座を設置することが承認された。

①(名称)

医療エレクトロニクス研究講座

(設置期間)

平成27年12月～平成32年11月（5年間）

(研究テーマ)

医療機器の開発・応用を目指す医療エレクトロニク

ス・生体エレクトロニクスの研究

②(名称)

不整脈病態制御医学講座

(設置期間)

平成28年1月～平成30年12月（3年間）

(研究テーマ)

不整脈疾患の病態解明と治療法の確立

③(名称)

心臓病先進治療学講座

(設置期間)

平成28年1月～平成32年12月（5年間）

(研究テーマ)

心血管病・睡眠時無呼吸症候群の包括的診療体制の構築

■ 経営審議会

なし

■ 教育研究審議会

【平成27年9月7日 平成27年度第2回教育研究審議会】

○福島県立医科大学大学院学則の一部改正について

医学研究科において「災害・被災医療科学共同専攻」の設置並びに寄附講座の教員が授業及び研究指導を行うことに伴う一部改正について諮られ、原案のとおり承認された。

【平成27年12月8日 平成27年度第3回教育研究審議会】

○福島県立医科大学大学院学則の一部改正について

大学院医学研究科医科学専攻修士課程における授業科目の追加に伴う一部改正について諮られ、原案のとおり承認された。

■ 医学部教授会

【平成27年10月21日 定例教授会】

○倫理委員会委員の推薦について

退職した委員の後任の委員が、次のとおり選出された。

- 細矢教授（小児科学講座）

○臨床手術手技研修等専門委員会委員の推薦について

次のとおり選出された。

- 医学部の解剖学を担当する教授又は准教授
八木沼教授（神経解剖・発生学講座）、和栗教授（解剖・組織学講座）
- 医学部生命科学・社会医学系の教授又は准教授
永福教授（システム神経科学講座）、黒田教授（法医学講座）
- 医学部臨床医学系の教授又は准教授

齋藤教授（脳神経外科学講座）、矢吹教授（整形外科科学講座）、佐治教授（腫瘍内科学講座）

【平成27年11月18日 定例教授会】

○動物実験委員会委員の推薦について

次のとおり選出された。

- 動物実験に関係する教授又は准教授
千葉教授（基礎病理学講座）、浄土准教授（システム神経科学講座）、井上准教授（細胞科学研究部門）
- 動物実験に関係しない教授又は准教授
五十嵐准教授（自然科学講座）、田中准教授（人間科学講座）

■ 看護学部教授会

【平成27年9月15日 定例教授会】

○附属学術情報センター運営委員会委員の推薦について

生命科学部門の森准教授が推薦された。

雑 報

■ 寄附講座の設置について

本学では、平成27年10月1日以降、下記の寄附講座を開設しました。

◆名 称

外傷再建学講座

○設置期間

平成27年10月1日～平成32年9月30日

○寄附者

一般財団法人温知会 会津中央病院

○設置場所

福島県福島市光が丘1番地
(公立大学法人福島県立医科大学内)

○研究体制

講座主任・教授 伊藤 雅之
講 師 畑下 智
助 手 高橋洋二郎

○研究テーマ

外傷治療および再建治療に関する研究

◆名 称

生体機能イメージング講座

○設置期間

平成27年10月1日～平成30年9月30日

○寄附者

一般財団法人脳神経疾患研究所

○設置場所

福島県福島市光が丘1番地
(公立大学法人福島県立医科大学内)

○研究体制

講座主任 竹之下誠一
教 授 石渡 喜一

○研究テーマ

PET用生体機能探索プローブの開発とその臨床応用

◆名 称

多発性硬化症治療学講座

○設置期間

平成27年10月1日～平成30年9月30日

○寄附者

一般財団法人脳神経疾患研究所

○設置場所

福島県福島市光が丘1番地
(公立大学法人福島県立医科大学内)

○研究体制

講座主任 宇川 義一
教 授 藤原 一男

○研究テーマ

多発性硬化症（MS）、視神経脊髄炎（NMO）の臨床、画像、病態的解析、及び治療法の開発、並びに関連緒科との連携による総合的な医療・ケアシステムの構築

◆名 称

医療エレクトロニクス研究講座

○設置期間

平成27年12月1日～平成32年11月30日

○寄附者

医療法人社団 小野病院

○設置場所

福島県福島市光が丘1番地
(公立大学法人福島県立医科大学内)

○研究体制

講座主任 竹之下誠一
教 授 下村 健寿
准教授 前島 裕子

○研究テーマ

医療機器の開発・応用を目指す医療エレクトロニクス・生体エレクトロニクスの研究

◆名 称

不整脈病態制御医学講座

○設置期間

平成28年1月1日～平成30年12月31日

○寄附者

セント・ジュード・メディカル株式会社
バイオトロンニックジャパン株式会社

○設置場所

福島県福島市光が丘1番地
(公立大学法人福島県立医科大学内)

○研究体制

講座主任 竹石 恭知
特任教授 青沼 和隆
准教授 鈴木 均

○研究テーマ

不整脈疾患の病態解明と治療法の確立

◆名 称

心臓病先進治療学講座 (更新)

○設置期間

平成28年 1月1日～平成32年12月31日

○寄附者

フクダ電子株式会社
フクダライフテック株式会社
フクダ電子南東北販売株式会社
フクダライフテック南東北株式会社

○設置場所

福島県福島市光が丘1番地
(公立大学法人福島県立医科大学内)

○研究体制

講座主任 竹石 恭知
特任教授・准教授 義久 精臣
助 教 鈴木 聡

○研究テーマ

心血管病・睡眠時無呼吸症候群の包括的診療体制の構築

■ 平成27年度 科学研究費助成事業補助金採択状況 (研究代表者)

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	神経解剖・発生学講座	教授	八木沼洋行	基盤研究 (C)	15K06741	鳥類の頸髄の特殊化に関わる運動神経群の発生の解明
医学部	神経解剖・発生学講座	講師	渡邊 裕二	基盤研究 (C)	15K06740	視蓋層形成における接線方向への細胞移動と層構築の制御
医学部	神経解剖・発生学講座	助教	橋本 光広	基盤研究 (C)	25430008	小脳内領域化を決定する分子メカニズムとその生理的意義の解明
医学部	解剖・組織学講座	教授	和栗 聡	基盤研究 (B)	15H04670	オートファジーの機能形態学的基盤-隔離膜生成機構の解明に向けて
医学部	解剖・組織学講座	教授	和栗 聡	挑戦的萌芽研究	15H04670	癌細胞の生存戦略に関与する新規細胞膜ドメイン構造の解析
医学部	解剖・組織学講座	助教	植村 武文	若手研究 (B)	26830080	細胞増殖・癌病態を制御する受容体型チロシンキナーゼの新規寿命調節機構の分子基盤
医学部	解剖・組織学講座	助教	安納 弘道	挑戦的萌芽研究	25560375	がんカヘキシンの骨格筋萎縮におけるオートファジーの解明と運動による改善
医学部	解剖・組織学講座	助教	田村 直輝	若手研究 (B)	15K18505	PI (3,5) P2 結合因子としての WIPI family の解析
医学部	細胞統合生理学講座	教授	挾間 章博	基盤研究 (C)	26460299	臓器セシウム蓄積に関わる細胞膜セシウム輸送経路の解明
医学部	システム神経科学講座	准教授	浄土 英一	基盤研究 (C)	25461775	統合失調症動物モデルにおける認知障害発現に関わる神経機構の解明
医学部	生化学講座	教授	橋本 康弘	基盤研究 (C)	26460394	中枢神経疾患における“脳型”糖タンパク質の代謝および診断的意義
医学部	生化学講座	講師	苅谷 慶喜	若手研究 (B)	25860243	$\alpha 6\beta 4$ インテグリンによる癌の生存戦略機構の解明
医学部	生化学講座	助教	飯島 順子	若手研究 (B)	26860201	Toll 様受容体 4 複合体を介した自然免疫の機能におけるコアフコースの意義
医学部	生化学講座	主任医療技師	星 京香	奨励研究	15H00638	小児の熱性けいれんに伴う脳症とけいれん重症症を鑑別する新規髄液マーカー探索
医学部	免疫学講座	教授	関根 英治	挑戦的萌芽研究	26670478	補体因子 MASP-1/3 を標的とする新規製剤の開発と SLE モデル動物への治療効果
医学部	免疫学講座	講師	高橋 実	基盤研究 (C)	26460393	3MC 症候群の病態への補体関連因子 MASP-1/3 の関与とその分子機構の研究
医学部	免疫学講座	助教	坂本 夏美	若手研究 (B)	26860755	IgG4 関連腎臓病モデルマウスの確立とその病態への自己反応性 Th2 細胞の役割
医学部	免疫学講座	博士研究員	遠藤 雄一	基盤研究 (C)	25460596	認識分子フィコリンの恒常性維持に果たす新たな役割と分子基盤の解明
医学部	薬理学講座	教授	木村 純子	基盤研究 (C)	24590325	芍薬甘草湯が抗癌薬パクリタキセルの副作用を緩和するメカニズムの研究
医学部	薬理学講座	准教授	色摩 弥生	基盤研究 (C)	26461409	骨髄異形成症候群の無効造血に対する分子標的治療に向けての基礎的検討
医学部	薬理学講座	講師	坂本 多穂	基盤研究 (C)	25460338	ストレスによるクラスリン依存性転写調節の解析
医学部	薬理学講座	助手	大野 雄康	若手研究 (B)	15K20349	新しいデバイスと集合知を活用した効果的な減塩手法の開発と実践
医学部	微生物学講座	教授	錫谷 達夫	基盤研究 (C)	26460682	サイトメガロウイルスに対する細胞性免疫能測定検査の開発と病態解明
医学部	微生物学講座	講師	生田 和史	若手研究 (B)	25870580	感染細胞指向性の違いにより病原性が異なるサイトメガロウイルスの型判別法開発
医学部	微生物学講座	助教	石岡 賢	基盤研究 (C)	15K08648	サイトメガロウイルス臨床分離株の感染細胞指向性の違いによる迅速型判別方法の開発
医学部	微生物学講座	助教	小林 敬広	若手研究 (B)	15K20271	iPS 細胞を用いた網膜色素上皮細胞の CMV 抗原特異的な免疫応答と恒常性維持の解明
医学部	基礎病理学講座	教授	千葉 英樹	挑戦的萌芽研究	26670191	細胞間接着シグナルを利用した革新的ダイレクト・リプログラミング法の開発
医学部	基礎病理学講座	准教授	井村 徹也	基盤研究 (C)	25430039	シグナル伝達分子 HMGB を用いた成体神経新生の制御と活性評価法の確立
医学部	基礎病理学講座	講師	富川 直樹	基盤研究 (C)	26460475	タイト結合分子クローディンによる新規上皮分化誘導機構の解明
医学部	基礎病理学講座	助手	田中 瑞子	若手研究 (B)	25860271	新規肺癌予後マーカー S100A14 の機能解析と臨床応用
医学部	衛生学・予防医学講座	教授	福島 哲仁	基盤研究 (C)	15K08782	パーキンソン病患者には何故癌の発生が少ないのか? - 癌発症予防の基礎的研究 -

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	衛生学・予防医学講座	准教授	早川 岳人	基盤研究 (C)	15K00049	医療情報の高度利用による健康寿命予測推定モデルの構築と健康寿命の推計に関する研究
医学部	衛生学・予防医学講座	講 師	熊谷 智広	挑戦的萌芽研究	15K15239	マンガン誘導性ミクログリア活性化によるパーキンソン病発症へのATP13A2の関与
医学部	衛生学・予防医学講座	助 教	各務 竹康	若手研究 (B)	25860464	震災・原発事故で疲弊した零細事業所労働者に対するターゲットを絞った保健指導の効果
医学部	衛生学・予防医学講座	助 手	日高 友郎	若手研究 (B)	25860465	社会生活の充実が施設療養中の認知症高齢者のQOLに与える影響の検討
医学部	公衆衛生学講座	教 授	安村 誠司	基盤研究 (C)	15K08810	原発事故後の福島におけるマスメディア報道による健康不安への影響の検証とその対策
医学部	公衆衛生学講座	講 師	岩佐 一	基盤研究 (C)	15K08809	地域高齢者における認知症予防を目指した「現代高齢者版余暇活動尺度」の開発
医学部	公衆衛生学講座	助 教	黒田佑次郎	若手研究 (B)	15K17296	長期避難生活を送る高齢者の心理社会的影響の評価と支援方法の開発
医学部	公衆衛生学講座	助 教	伊藤 慎也	研究活動スタート支援	26885060	放射線被ばくによる妊娠出産に対する不安のエンパワメント評価
医学部	放射線生命科学講座	教 授	坂井 晃	基盤研究 (C)	25460694	低線量被ばくにおける染色体解析を用いた生物学的線量評価方法の確立
医学部	放射線生命科学講座	准教授	津山 尚宏	基盤研究 (C)	24619004	ピエゾ振動ナノCIによる低極性分子標的LiveSingle-cellMS法の開発
医学部	放射線生命科学講座	准教授	津山 尚宏	基盤研究 (C)	15K00543	マルチモーダル解析による低線量放射線細胞応答機構の解明
医学部	放射線生命科学講座	助 手	阿部 悠	若手研究 (B)	15K19804	放射線被ばくによる染色体異常の経年変化の解明および低線量域の線量評価法の確立
医学部	疫学講座	教 授	大平 哲也	挑戦的萌芽研究	26670334	心理的因子と肥満・糖脂質代謝異常との心身連関に関する疫学研究
医学部	疫学講座	教 授	大平 哲也	基盤研究 (B)	15H04775	心房細動発症の長期推移と身体・心理・社会的危険因子の時代変遷に関する疫学研究
医学部	疫学講座	助 教	広崎 真弓	若手研究 (B)	26860425	地域在住高齢者におけるポジティブ感情の予防医学的効果の検討
医学部	疫学講座	助 手	中野 裕紀	研究活動スタート支援	26893214	福島県における県内外避難者を対象とした循環器疾患発症登録システムの開発
医学部	疫学講座	助 教	章 雯	研究活動スタート支援	26893215	福島県「県民健康管理調査」健康診査結果の震災前後の変化に及ぼす心理社会要因の影響
医学部	循環器・血液内科学講座	教 授	竹石 恭知	基盤研究 (C)	15K09143	糖尿病を合併した虚血性心不全に対する治療戦略
医学部	循環器・血液内科学講座	教 授	小川 一英	基盤研究 (C)	15K09483	骨髄増殖性腫瘍の病態におけるCalreticulin変異とHMGA2発現の役割
医学部	循環器・血液内科学講座	准教授	義久 精臣	基盤研究 (C)	25461061	睡眠時無呼吸症候群合併及び非合併心不全患者に対する呼吸補助療法の確立
医学部	循環器・血液内科学講座	講 師	野地 秀義	基盤研究 (C)	25461431	遺伝子セットを用いたMDS症例でのAML移行リスクの評価法の確立
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	池田 和彦	基盤研究 (C)	15K09484	マイクロRNA/クロマチン制御因子の骨髄増殖性腫瘍進展および白血化における役割
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	小林 淳	基盤研究 (C)	15K09090	心不全と全身性炎症疾患である慢性閉塞性肺疾患の関連性と悪循環因子の解明
医学部	循環器・血液内科学講座	助 教	植田 航希	若手研究 (B)	26860720	Hmga2トランスジェニックマウス等を用いた骨髄増殖性疾患の病態解明
医学部	循環器・血液内科学講座	助 手	中村 裕一	若手研究 (B)	15K19390	血管新生因子に対するインクレチン関連薬の効果
医学部	循環器・血液内科学講座	病院助手	原田 佳代	基盤研究 (C)	15K09457	HMGA2による骨髄線維症の新たな診断・治療法の開発
医学部	循環器・血液内科学講座	博士研究員	山田 慎哉	若手研究 (B)	26860577	老化に伴う酸化ストレスと冠血管攣縮との関連について
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	教 授	渡辺 浩志	基盤研究 (C)	15K09554	IgG4関連疾患における、補体活性化能をもつIgG4の構造的解析
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	助 教	阿部 和道	基盤研究 (C)	15K09014	肝線維化における自然免疫を介した肝再生への誘導
医学部	消化器・リウマチ膠原病内科学講座	助 手	鈴木 玲	若手研究 (B)	15K18432	膀胱間質に注目した抗癌剤感受性試験法確立に関する研究
医学部	腎臓高血圧・糖尿病内分泌代謝内科学講座	助 教	渡邊 公雄	若手研究 (B)	15K19461	尿毒症物質による認知機能障害の病態解明に関する研究
医学部	神経内科学講座	教 授	宇川 義一	基盤研究 (B)	25293206	単相性反復磁気刺激によるヒト大脳・小脳・脊髄の可塑性誘導法の開発：その基礎と臨床

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	神経内科学講座	教 授	宇川 義一	新学術領域研究(研究領域提案型)(計画研究)	15H05881	機能的ネットワーク病態への介入
医学部	神経内科学講座	講 師	榎本 博之	基盤研究 (C)	25461322	運動皮質可塑性から見たパーキンソン病治療計画の立案
医学部	神経内科学講座	講 師	星 明彦	基盤研究 (C)	26461314	神経変性疾患の病態に水チャンネル-アクアポリンは関与するのか?
医学部	神経内科学講座	助 教	小林 俊輔	基盤研究 (C)	15K04188	時空間認知とその心理的相互作用に関与する神経機構の解明
医学部	呼吸器内科学講座	講 師	齋藤 純平	基盤研究 (C)	15K09182	呼吸硫化水素を用いた慢性閉塞性肺疾患 (COPD) 増悪予測の検討
医学部	臓器再生外科学講座	教 授	鈴木 弘行	基盤研究 (C)	25462182	肺癌のエピジェネティクス異常を標的とした化学療法耐性メカニズムの解明
医学部	臓器再生外科学講座	講 師	丸橋 繁	基盤研究 (C)	15K10163	細胞内シグナル伝達に着目した肝再生制御機構の解明と腫瘍細胞増殖制御への応用
医学部	臓器再生外科学講座	助 教	佐瀬善一郎	若手研究 (B)	26861091	消化器がん患者に対する制御性B細胞を標的とした免疫療法の開発
医学部	臓器再生外科学講座	助 手	佐藤 直哉	若手研究 (B)	15K19902	網羅的遺伝子発現解析に基づいた膝窩移植片前処置による長期生着効果の誘導
医学部	臓器再生外科学講座	助 手	松村 勇輝	若手研究 (B)	15K19942	肺癌の検診・早期発見のための、生体揮発性有機化合物の探索
医学部	臓器再生外科学講座	病院助手	佐藤 哲	若手研究 (B)	15K19901	肝細胞癌に対する術前免疫塞栓療法が示す再発抑制効果に対する基礎的検討
医学部	器官制御外科学講座	教 授	竹之下誠一	基盤研究 (C)	15K10143	大規模ゲノムデータによるステージII-III大腸癌術後個別化バイオマーカーの作成と検証
医学部	器官制御外科学講座	准教授	福島 俊彦	基盤研究 (C)	25461989	小児甲状腺癌の分子生物学的特性の解明
医学部	器官制御外科学講座	講 師	隈元 謙介	基盤研究 (C)	26462022	新規癌抑制遺伝子候補 SVS-1 の癌抑制のメカニズムの解明と治療への応用
医学部	器官制御外科学講座	助 教	阿部 宣子	基盤研究 (C)	15K10058	乳癌における新規腫瘍マーカーMECA-79の臨床的意義と転移における機能解析
医学部	器官制御外科学講座	博士研究員	岡山 洋和	若手研究 (B)	25870582	糖鎖遺伝子発現による大腸癌マーカー開発と糖鎖を制御するマイクロRNAの同定と解析
医学部	脳神経外科学講座	教 授	斎藤 清	基盤研究 (C)	15K10340	神経線維腫症2型はなぜ難病? 孤発例神経鞘腫との比較による分子機序解明と治療法開発
医学部	脳神経外科学講座	准教授	藤井 正純	基盤研究 (B)	15H04948	術中情報を統合した4Dマルチレイヤーナビゲーション・手術支援プラットフォームの開発
医学部	脳神経外科学講座	助 教	岩味健一郎	若手研究 (B)	15K19976	新たな髄膜腫細胞株・動物モデルの樹立と髄膜腫に対する新規薬剤治療法の評価
医学部	脳神経外科学講座	助 手	岸田 悠吾	若手研究 (B)	24791514	髄膜腫の悪性サブグループの発生メカニズムを解明する
医学部	整形外科科学講座	教 授	紺野 慎一	基盤研究 (C)	25462298	運動器の臨床疫学研究 (LOHAS)
医学部	整形外科科学講座	教 授	大谷 晃司	基盤研究 (C)	15K10412	脊椎退行性疾患の症状発現に関する探索的研究
医学部	整形外科科学講座	准教授	池上 之浩	挑戦的萌芽研究	15K15668	高次脳機能障害症例における局所神経細胞障害: PET/MRIによる検討
医学部	形成外科学講座	教 授	上田 和毅	基盤研究 (C)	15K10944	脱神経電位による予後予測の実験的研究
医学部	産科婦人科学講座	教 授	藤森 敬也	基盤研究 (C)	25462569	高サイトカイン血症下における胎児パラメータの包括的評価法の確立-羊胎仔実験モデル
医学部	小児科学講座	教 授	桃井 伸緒	基盤研究 (C)	25461650	低酸素が心臓形態形成期の胎児心血行動態に及ぼす影響について
医学部	小児科学講座	准教授	川崎 幸彦	基盤研究 (C)	26461615	急性・慢性腎障害の発症・進展過程における DAMPs の役割とその制御システムの検討
医学部	小児科学講座	准教授	橋本 浩一	基盤研究 (C)	15K09658	RSV 感染症克服を目指した臨床分離株による「RSV 妊婦ワクチン」の基礎的研究
医学部	小児科学講座	講 師	陶山 和秀	基盤研究 (C)	26461590	難治性中枢神経感染症の発症・進展過程における DAMPs の役割とその制御システム
医学部	小児科学講座	助 教	大原信一郎	若手研究 (B)	15K19624	紫斑病性腎炎の発症病態解明: Treg を介した糖鎖不全 IgA1 産生機序と受容体解析
医学部	小児科学講座	助 教	金井 祐二	若手研究 (B)	15K19659	バルプロ酸の胎仔マウスの心臓に及ぼす影響とその分子生物学的メカニズムの解明

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	小児科学講座	助 手	遠藤 起生	若手研究 (B)	26860815	川崎病における IL-1RA 関連因子および遺伝子多型の検討と、治療薬としての可能性
医学部	小児科学講座	助 手	小笠原 啓	若手研究 (B)	15K19658	グルココルチコイド受容体の遺伝子多型が血管透過性に及ぼす影響に関する検討
医学部	眼科学講座	教 授	石龍 鉄樹	基盤研究 (C)	25462724	代謝関連眼底自発蛍光による加齢黄斑変性の病態解明
医学部	眼科学講座	助 教	森 隆史	基盤研究 (C)	26462644	弱視治療年齢の調節麻痺下屈折値を非侵襲的検査で推測するための等高線図を作成する
医学部	眼科学講座	助 手	伊勢 重之	若手研究 (B)	25861642	脈絡膜・強膜観察による黄斑疾患発症メカニズムの解明
医学部	泌尿器科学講座	教 授	小島 祥敬	基盤研究 (C)	26462448	前立腺肥大症に対するゲノム薬理学に基づく個別化治療と創薬開発に向けた基礎的研究
医学部	泌尿器科学講座	准教授	相川 健	基盤研究 (C)	26462449	膀胱周囲脂肪組織を介する膀胱機能障害のメカニズム解明に立脚した新規治療の開発
医学部	泌尿器科学講座	講 師	石橋 啓	基盤研究 (C)	25462492	腎癌に対するサイトカインシグナル制御による新しい抗体療法の開発
医学部	泌尿器科学講座	助 教	柳田 知彦	基盤研究 (C)	26462418	腎癌の網羅的遺伝子発現解析に基づく新規予後関連遺伝子からの治療標的の探索
医学部	泌尿器科学講座	助 教	楠田 信博	基盤研究 (C)	26462447	膀胱粘膜に存在する自律収縮 その特性と過活動膀胱の新規発症メカニズムの解明
医学部	泌尿器科学講座	助 教	羽賀 宣博	基盤研究 (C)	26462462	ED ならびに LUTS に対する抗酸化作用に着目した予防治療法の開発
医学部	泌尿器科学講座	病院助手	赤井畑秀則	若手研究 (B)	26861279	動脈硬化症に伴う過活動膀胱への Rho-kinase の関与と新規治療薬への応用
医学部	泌尿器科学講座	博士研究員	松岡 俊光	基盤研究 (C)	25462517	進行性膀胱機能障害への分子スイッチの探索
医学部	泌尿器科学講座	博士研究員	鶴谷 善昭	基盤研究 (C)	26462463	サイトメガロウイルス DNA 多型による腎移植後の急性拒絶反応機序の解明
医学部	泌尿器科学講座	博士研究員	小川総一郎	若手研究 (B)	25861433	ヒト膀胱平滑筋弛緩メカニズムの解明と蓄尿障害に対する新規治療法への応用
医学部	耳鼻咽喉科学講座	教 授	大森 孝一	基盤研究 (B)	26293371	マウスおよびヒト iPS 細胞を用いた頭頸部組織の再生技術開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	教 授	大森 孝一	挑戦的萌芽研究	15K15621	細胞内シグナル伝達から明らかにする気管再生機構
医学部	耳鼻咽喉科学講座	講 師	多田 靖宏	基盤研究 (C)	26462615	新たに開発した人工気管による気管上皮再生促進効果の解明
医学部	耳鼻咽喉科学講座	講 師	野本 幸男	基盤研究 (C)	15K10819	機能的な気管軟骨の再生に関する研究
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 教	今泉 光雅	若手研究 (B)	26861404	ヒト iPS 細胞を用いた喉頭組織再生に関する研究
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 教	野本 美香	若手研究 (B)	26861403	軟骨細胞と線維芽細胞を用いた新規人工気管の開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	鈴木 政博	基盤研究 (C)	26462614	新しい分子生物学的手法を用いたリンパ節転移診断の研究開発
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	池田 雅一	若手研究 (B)	15K20216	気管欠損モデルにおける iPS 細胞を用いた組織再生研究
医学部	耳鼻咽喉科学講座	助 手	鈴木 亮	若手研究 (B)	15K20217	Muse 細胞を用いた声帯瘢痕の再生
医学部	耳鼻咽喉科学講座	病院助手	谷 亜希子	若手研究 (B)	26861402	成長因子を用いた気管粘膜再生過程
医学部	耳鼻咽喉科学講座	博士研究員	吉江 進	若手研究 (B)	26861405	ヒト iPS 細胞を用いた気管軟骨への分化誘導に関する研究
医学部	耳鼻咽喉科学講座	博士研究員	中村 亮介	若手研究 (B)	15K20215	持続的な成長因子シグナリングを可能にする人工気管の開発
医学部	神経精神医学講座	講 師	國井 泰人	若手研究 (B)	15K19739	ジェネティックニューロパソロジーによる統合失調症脳内分子表現型解析
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	丹羽 真一	基盤研究 (C)	26461770	統合失調症の社会認知機能評価の包括的検査バッテリーとその簡易普及版の開発
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	日野 瑞城	若手研究 (B)	24791220	ドパミン系とグルタミン酸系との調節因子 DARPP のコントローラー Pin1 の解析
医学部	神経精神医学講座	博士研究員	松本 純弥	若手研究 (B)	25861022	統合失調症における脳脂質代謝の視覚的網羅解析
医学部	麻酔科学講座	教 授	村川 雅洋	基盤研究 (C)	15K10516	局所麻酔薬中毒の中樞神経症状に対する Lipid Rescue の作用機序の解明

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	手術部	講 師	小原 伸樹	若手研究 (B)	15K20052	静脈注射用アセトアミノフェンの日本人手術患者の薬物動態・薬力学解析
医学部	救急医療学講座	博士研究員	西川 光一	基盤研究 (C)	26462341	GABA 抑制系による脳可塑性の制御と麻酔薬：鎮静と毒性の分子基盤に関する新研究
医学部	感染制御医学講座	講 師	山本 夏男	基盤研究 (C)	25461518	オリゴ多糖体投与による、Th2 関連応答を介した感染症の緩和/治療効果
医学部	感染制御医学講座	助 教	仲村 究	基盤研究 (C)	15K09965	放射線被曝個体における敗血症発症機序の解明とその治療法の解析
医学部	輸血・移植免疫学講座	講 師	鈴木 裕子	基盤研究 (C)	25461455	健康人および血液疾患患者における免疫老化細胞 Tsen の検討
医学部	放射線腫瘍学講座	教 授	鈴木 義行	基盤研究 (C)	15K10003	免疫放射線療法の確立に向けた基礎・トランスレーショナル研究
医学部	放射線腫瘍学講座	准教授	田巻 倫明	若手研究 (B)	25861070	3 次元的生物効果線量 (BED) 分布解析による新たな包括的放射線治療評価法の探索
医学部	腫瘍内科学講座	教 授	佐治 重衡	基盤研究 (C)	15K10059	乳癌ホルモン療法の効果・耐性化に関連する血中微量ステロイドホルモンの探索的研究
医学部	生命倫理学分野	講 師	中川 恵子 (末永恵子)	基盤研究 (C)	26370799	日本占領下の海南島における衛生・医療政策
医学部	先端化学分野	教 授	志村 清仁	基盤研究 (C)	26410158	免疫抽出とキャピラリー等電点電気泳動のオンライン結合による翻訳後修飾パターン分析
医学部	先端化学分野	准教授	五十嵐城太郎	基盤研究 (C)	26340041	ヒ素化合物による細胞ストレス応答の分子機構：翻訳開始因子キナーゼのクロストーク
医学部	生体物質研究部門	教 授	本間 好	基盤研究 (C)	26460372	ミトコンドリア内チロシンキナーゼ c-Src 調節とその生物学的意義に関する研究
医学部	生体物質研究部門	助 教	小椋 正人	若手研究 (B)	15K21261	ミトコンドリア活性酸素種に起因する神経変性モデルの構築と新規疾患分子の同定
医学部	細胞科学研究部門	教 授	和田 郁夫	挑戦的萌芽研究	15K14462	狭い空間での反応に関わる内膜微小揺動に関する研究
医学部	細胞科学研究部門	准教授	井上 直和	基盤研究 (B)	26291052	配偶子膜融合活性化メカニズムの解明
医学部	細胞科学研究部門	特別研究員	鈴木 貴久	特別研究員奨励費	25・11181	細胞外環境での小さな操作分子イメージングツールの開発
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	新学術領域研究	26112001	行動適応を担う脳神経回路の機能シフト機構
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	新学術領域研究	26112002	経路選択的な神経回路の操作・制御技術
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	国際共同研究加速基金 (国際活動支援班)	15K21715	行動適応を担う脳神経回路の機能シフト研究を推進するための国際連携活動
医学部	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	挑戦的萌芽研究	25640037	昆虫フェロモン受容体を利用した新規神経回路活動操作技術の開発
医学部	生体機能研究部門	講 師	加藤 成樹	若手研究 (A)	25702053	記憶・学習を介する神経回路の機能制御と優れた学習モデル動物作出の試み
医学部	生体機能研究部門	助 教	伊原寛一郎	若手研究 (B)	25870581	新型イムノトキシンの開発と特定神経回路機能制御による霊長類高次脳機能の解明
医学部	生体機能研究部門	助 教	西澤 佳代	若手研究 (B)	25870583	弁別学習を制御する脳内メカニズム：背側線条体回路の役割
医学部	生体機能研究部門	助 教	深掘 良二	基盤研究 (C)	15K07155	行動選択に関する視床-線条体インフォメーションフロー
医学部	生体機能研究部門	博士研究員	瀬戸川 将	研究活動スタート支援	15H06530	知覚-運動学習に伴う線条体内の可塑的变化の解明
医学部	放射性同位元素研究施設	准教授	関亦 正幸	基盤研究 (C)	15K10987	炎症性疾患におけるエピジェネティクス制御機構の解明と臨床応用
医学部	実験動物研究施設	准教授	関口 美穂	基盤研究 (C)	23592169	ラット髄核留置モデルにおける全身または局所ストレス負荷が及ぼす疼痛関連行動
医学部	医療エレクトロニクス研究講座	教 授	下村 健寿	基盤研究 (C)	26461366	室傍核オキシトシンニューロンの KATP チャネルによる摂食調節の解明と治療応用
医学部	医療エレクトロニクス研究講座	准教授	前島 裕子	基盤研究 (C)	24591341	幼少期エネルギー環境に適応した室傍核オキシトシン神経回路網の発達・構築機構の解明
医学部	生活習慣病・慢性腎臓病 (CKD) 病態治療学講座	准教授	旭 浩一	基盤研究 (C)	15K08742	行動変容プロセス評価の慢性腎臓病発症進展の予防戦略における有用性の検討
医学部	総合周産期母子医療センター	助 教	郷 勇人	若手研究 (B)	26860850	新生児慢性肺疾患の重症化に関わるマイクロ RNA の同定と臨床応用への検討

所 属		職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
医学部	小児腫瘍内科	学内講師	望月 一弘	基盤研究 (C)	15K09659	Notch ligand Dll4 による Th1 誘導性 DC を応用した癌ワクチン療法
看護学部	生命科学部門	准教授	森 努	基盤研究 (C)	25461920	新たなネットワーク中心分子を標的とした効率的な癌治療法を開発するための基礎的研究
看護学部	基礎看護学部門	助 教	林 紋美	若手研究 (B)	25862153	2型糖尿病患者を抱える家族への看護実践力向上プログラムの開発
看護学部	療養支援看護学部門	教 授	真壁 玲子	基盤研究 (C)	26463344	がん看護実践者を対象としたエビデンスに基づくがん看護実践学習プログラムの開発
看護学部	療養支援看護学部門	教 授	坂本 祐子	基盤研究 (B)	25293465	足関節背屈角度を指標とした転倒ハイリスク者の識別と転倒予防プログラムの開発
看護学部	療養支援看護学部門	教 授	坂本 祐子	挑戦的萌芽研究	25670996	高齢者の精油芳香時の自律神経反応から検討する芳香法によるアロマセラピーの妥当性
看護学部	療養支援看護学部門	講 師	井上 水絵	若手研究 (B)	25862137	婦人科がん術後患者の回復期におけるフォローアップ相談の開発と効果検証の研究
看護学部	療養支援看護学部門	講 師	大崎 瑞恵	若手研究 (B)	26861958	退院支援における専門職連携実践の質評価尺度の開発
看護学部	療養支援看護学部門	講 師	三浦 浅子	基盤研究 (C)	15K11629	がん治療完了～長期生存のがんサバイバーシップケアモデルの構築に関する研究
看護学部	地域・在宅看護学部門	教 授	高瀬 佳苗	基盤研究 (C)	23593384	中高年者の健康増進の運動行動に対する自己効力および結果期待の尺度開発
看護学部	地域・在宅看護学部門	助 手	鈴木 良香	若手研究 (B)	15K20768	福島原発事故避難後に認知症を発症した高齢者を介護する家族の生活状況と精神的健康
看護学部	家族看護学部門	准教授	大川 貴子	基盤研究 (C)	15K20768	被災地における高校生のアルコール関連問題の実態と介入方法の検討
看護学部	家族看護学部門	講 師	佐藤 利憲	若手研究 (B)	15K20768	コミュニティにおける遺児支援技術の習得プログラムの開発と拡大に関する研究
その他	放射線医学県民健康管理センター	教 授	高橋 秀人	基盤研究 (C)	15K00050	全国介護保険レセプトデータ・国民生活基礎調査の整備と代表性に関する研究
その他	放射線医学県民健康管理センター	助 手	堀越 直子	基盤研究 (C)	26510011	東日本大震災による福島県避難住民の居住形態における精神的な健康状態への影響
その他	放射線医学県民健康管理センター	助 手	上田 由桂	若手研究 (B)	15K17297	避難住民における多量飲酒者に対する新たな集団療法の構築
その他	医療人育成・支援センター	講 師	熊谷 敦史	基盤研究 (C)	26460772	福島原発事故後の住民の健康リスクに対する意識の変化と「よろず健康相談」の役割
その他	医療人育成・支援センター	助 教	小林 元	基盤研究 (C)	26460607	医学生の psychomotor skill は専門診療科選択に影響するか？
その他	医療人育成・支援センター	助 教	本谷 亮	若手研究 (B)	24730586	慢性疼痛の症状維持モデルに基づく認知行動療法の効果：主観的評価と脳機能の観点から
その他	医療人育成・支援センター	助 教	本谷 亮	若手研究 (B)	15K17298	慢性疼痛に対する認知行動療法の治療効果と反応予測因子の検討
その他	医療人育成・支援センター	助 手	菅原亜紀子	若手研究 (B)	15K19153	継続診療のコミュニケーションスキルを学ぶ SP 参加型教育プログラムの開発
その他	医療人育成・支援センター	助 手	諸井 陽子	若手研究 (B)	26860348	インターネット・コミュニティで医療人が起こしうるモラルハザード問題を考える
その他	医療人育成・支援センター	助 手	吉田 浩二	若手研究 (B)	26861857	福島県内保健師に対する放射線教育へのアプローチ
その他	先端臨床研究センター	教 授	伊藤 浩	基盤研究 (C)	25461862	PET および MRI による脳内神経伝達機能の相互作用の画像医学的解明
その他	先端臨床研究センター	教 授	織内 昇	基盤研究 (C)	25461801	PET によるアミノ酸トランスポータ標的がん治療のモニタリング法の開発に関する研究
その他	先端臨床研究センター	准教授	富永 英之	基盤研究 (C)	26461895	高特異性ホウ素中性子捕捉療法薬剤の開発
その他	先端臨床研究センター	准教授	久保 均	基盤研究 (C)	15K08698	癌の個別化医療に資するマルチモーダルセラノスティクスレーザーの臨床応用法の開発
その他	先端臨床研究センター	准教授	原 孝光	基盤研究 (C)	15K10002	大腸癌に対する EGFR 経路の抑制を基盤とした新たな分子標的放射線療法の開発
その他	先端臨床研究センター	助 教	村上 丈伸	新学術領域研究 (研究領域提案型) (公募研究)	15H01563	認知症における大脳皮質可塑性障害のメカニズムの解明と新たな早期診断法開発への応用
その他	先端臨床研究センター	助 教	村上 丈伸	若手研究 (B)	26860675	アルツハイマー病に対する磁気刺激と認知機能訓練とのハイブリッド治療の開発
その他	先端臨床研究センター	助 手	南部 武幸	基盤研究 (C)	15K09964	PET/MR を利用した FDG による認知症診断精度の向上

所 属	職	氏 名	研究種目名	課題番号	研 究 課 題 名
その他 会津医療センター	教 授	川勝 忍	基盤研究 (C)	26461732	嗜銀顆粒性認知症におけるアミロイドPETとアポリポ蛋白E多型
その他 会津医療センター	教 授	小川 洋	基盤研究 (C)	26462586	上咽頭のマイクロバイーム解析
その他 会津医療センター	教 授	塚本 和久	挑戦的萌芽研究	26670285	インスリン抵抗性及び炎症のバイオマーカーとしての非コレステロールステロールの検討
その他 会津医療センター	准教授	鈴木 朋子	基盤研究 (C)	26461192	PAR-2 アンタゴニストはIPF急性増悪新規治療薬になりうるか?
その他 会津医療センター	准教授	鈴木 雅雄	若手研究 (B)	26860483	慢性閉塞性肺疾患 (COPD) の息切れ対策と治療法の開発
その他 臨床研究教育推進部	准教授	長谷川 毅	基盤研究 (C)	15K00877	塩分味覚と塩分摂取量の関連ならびに保健指導介入が塩分味覚に及ぼす影響の検討
その他 臨床研究教育推進部	講 師	栗田 宜明	若手研究 (B)	15K16518	臨床疫学的手法を用いた地域行政向けフレイル・サルコペニア発症予測支援ツールの開発

■ 平成27年度 日本医療研究開発機構 (AMED) 研究費採択状況 (研究代表者)

所 属	職	氏 名	研究事業名	研究課題番号	研 究 課 題 名
医学部	基礎病理学講座	講 師	富川 直樹	15fk0210012h0002	宿主細胞間接着分子を標的としたC型肝炎の新規予防・治療法の開発
	疫学講座	教 授	大平 哲也	15ek0210003h0003	笑い等のポジティブな心理介入が生活習慣病発症・重症化予防に及ぼす影響についての疫学研究
	臓器再生外科学講座	教 授	後藤 満一	15lk0201012h0004	重症低血糖発作を合併するインスリン依存性糖尿病に対する脳死および心停止ドナーからの膵島移植
	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	15gm0310008h0305	霊長類の大脳-小脳-基底核ネットワークにおける運動情報の分散と統合
	生体機能研究部門	教 授	小林 和人	15dm0207028h0002	マーモセット脳機能研究に最適化した経路選択的操作とその基盤となる回路構造解析技術の開発
附属病院	小児腫瘍内科	教 授	菊田 敦	15lk0201009h0004	造血細胞移植における肝中心静脈閉塞症 (VOD) に対する本邦未承認薬 defibrotide の国内導入のための研究: 第I相および第II相試験 (医師主導試験)
会津医療センター	会津医療センター 漢方医学講座	准教授	鈴木 雅雄	15lk0310002h0001	早期胃癌に対する内視鏡的粘膜下層剥離術における鍼治療の上部消化管蠕動運動抑制効果の検討

編集発行

公立大学法人福島県立医科大学

事務局企画財務課

〒960-1295 福島県福島市光が丘1番地

TEL 024 (547) 1013 FAX 024 (547) 1991